

議員定数について市民の意見を聞く!!

行財政改革調査特別委員会が二本松市議会史上初の試み

「行財政改革調査特別委員会」は、全国の自治体が陥っている財政危機の状況を踏まえ、二本松市はどのような行財政の改革を行い、この危機的な状況を乗り切っていこうとしているのか、また議会自らどのような改革をするべきかを調査検討するために、平成18年12月定例議会で委員会を設置しました。

当委員会では、付託された「新市の健全な行財政改革に関する調査」を実施するため、具体的な調査項目を、行財政運営の現況と課題及び具体的な方策、健全な財政状況のあり方、議会の改革と定め、調査を進めております。

現在検討している「議会改革」の主な項目としては、

- 議員定数について
- 議員報酬について
- 行政視察のあり方について
- 議員日当の廃止について
- 議会内音声システムの導入について
- 議長公用車の廃止について
- 議長・副議長の会派離脱について
- 各種審議会への議員の就任廃止について
- 議会の議決権の拡大について
- 専門的知見の活用について 等

です。

特に、議員定数については、各会派の考え方、各議員の個人の考え方を聴取し、議論に入りましたが、現状維持や削減等、さまざまな意見が出ております。

その中で、「市民の皆様の声聞いて、判断の材料にしてはどうか」との意見があり、二本松市議会では初めてとなります議会主催の市民との意見交換の場を設けさせていただきました。

今回は、議会側の意見集約がまだなされていない事もあり、市民の皆様からご意見を伺うだけで、意見交換とまではいきませんでした。開かれた議会を目指し、こういった機会を設けさせていただくよう委員会としても検討を進めてまいります。

◇開催した概要◇

日 時：平成21年5月14日(木) 19時～20時30分まで

場 所：議員協議室

主 催：二本松市議会

「行財政改革調査特別委員会」

◇ご参加いただいた団体◇

- 二本松市区長会
- 二本松商工会議所
- あだたら商工会
- 二本松青年会議所
- JAみちのく安達
- 二本松市婦人団体連合会
- 二本松市老人クラブ連合会
- 二本松市消防団
- 二本松市体育協会
- 二本松市文化団体連合会
- 二本松市社会福祉協議会
- 安達医師会
- 安達歯科医師会

以上13団体、22名の各団体代表の方の出席をいただきました。



意見を聞く会の様子

データボックス

○法定上限数

地方自治法第91条により、市町村議員定数の上限が決められており、定数は各市町村の条例により定めます（下限無し）。

人口5万人以上10万人未満の二本松市は30人が上限となっています。

○他市の状況

人口6万～6万5千人の市は全国に36市あり、その議員定数平均は、26名となっています。最少は大阪府高石市の17人。

◇ご参加いただいた皆様から 出された主なご意見◇

■定数削減■

- 人口が減少している状況下において、やはり議員定数を削減することが重要ではないか。
- 26名が平均のようであるから、それに合わせてはどうか。
- 財政状況、政策提言能力の欠如から考えると、10名から15名で良い。
- 自治振興協議会制等の導入などにより、議員の負担が軽減されるのではないかと思う。議会は市政全般にわたった大きな問題に集中して審議ができるということになる。そうなればスムーズに議員定数削減ができるのではないか。
- 財政困難の折、いろんな団体の補助金や助成金が削られているのが現状なので、当然議員の定数も少なくなっても仕方がないかと思う。
- 議員定数削減によってどれだけの財政効果があるか、削減できた予算をどのような市民サービスに提供できるか、そういった具体例をシミュレーションをしていただいて、市民に示していただくと簡単に答えも出てくるのではないか。
- 定数削減は世の流れのような気がする。ただし、財

政が苦しいから議員を減らして報酬を減らすことは本当にそれで良いのかと思う。定数は今の半分、報酬は倍増とした方が、地域代表で出てくる議員よりは良い議員が選出されるのではないかと思う。

- 現在の30人の1割程度は削減すべきではないか。

■現状維持■

- 過疎地域で、大変地域が広い割に人口が少ないというようなことで、大きな悩みを抱えてきた地域では、市民の声を市政に反映するという事になれば、市民の声を代表する議員がいて初めて反映できると思う。30人のままで良いと思う。
- 地域の数や市民の活動するエリアとか、面積とか、そういったものを考慮して決めなくてはならないと思う。削減して中心地から遠い地域の意見が届かなくなっても困ると思う。

■その他■

- 財政改革と議会改革は別物として考えていただきたい。
- このような意見を聞く会を開催して、市民の声を聞く姿勢に対して、本当に敬意を表する。
- 具体的に何人が適当という判断はとても難しい。
- 厳しい財政状況を最優先にして考え、そこから妥当な定数を判断していただきたい。

◇議員定数が決まるまでの今後のスケジュール◇

7月10日に開催される行財政改革調査特別委員会までに、各会派で意見を集約し、委員会に報告されることになっています。

- 各会派から出された意見が一致した場合
・行財政改革調査特別委員会において新定数を決定し「議員定数条例」(案)を作成する。
- 各会派等の意見が一致しなかった場合
・各会派及び考えを同じくする各議員が「議員定数条例」(案)を作成する。

行財政改革調査特別委員会では、9月定例会までに議員定数に対する考え方を決定し、各会派等の意見調整を図りながら進めていきます。
(7月9日現在)

まちづくり調査特別委員会

二本松市市民交流センター建設現場など現地調査を実施

まちづくり調査特別委員会では、5月28日午後2時より、委員会を開催し完成間近となった二本松市市民交流センターなどの現地調査を実施しました。

継続費予算の市民交流センター建設工事については、今年7月中の完成を目指し、現在の進捗率は約70%の出来高になっているとのことであり、工期内完成に向けて予定どおり進んでいるという状況でありました。

また、平成20年度繰越事業の立体駐車場建築工事及び外溝工事は、平成21年度内の完成に向け予定どおりの進捗である旨説明を受けました。



現地調査の様子